



「私的な一面・素的な一面」

みやしたじゅんいちろう
むつ市長(青森県) **宮下 順一郎**
Junichiro Miyashita



「子どもは地域のたからもの!」(「おでかけ市長室」の一コマ)

ています。このフレイズは市長一期目の政策ですが、むつ市を離れたわが家の子どもたちが「やっぱり、むつ市の食べ物は日本一うまいっ!」との言葉からできたものです。大いに市民に定着しています。私自身も「地産地消」むつうまフェアへ積極的に参加していますが、街の小さな酒屋を営んでいるものから、大勢

のお客さんが行列を成していると力が入り、客の呼び込みもします。「いらっしやい、いらっしやい」は、私の商売繁盛の原点です。

津軽海峡の「海峡サーモン」、本州最北端ワイナリーの「下北ワイン」、脇野沢産の「鱈」や「焼き干し」は天下逸品、これらを携えて首都圏進出を目指しています。江東区亀戸の商店街にある、むつ市出身者のアンテナショップと連携を始めたのを機会に、江東区とのお付き合いが始まりました。また、東京神田小川町には、むつ下北の漁協から仕入れた魚介類や、むつ市から直送した日本酒やワインなど、むつ市のうまいにこだわった料理とお酒を提供するご当地酒場、その名もズバリ「青森県むつ・下北半島」がオープンに至りました。東京方面へお出かけの際には、是非、お立ち寄りください。「こつこつと努力」して「顧客」を増やし、「お客様に寄り添う」ことで、利益配当性の高いむつ市カンパニーを作り上げたいと思っています。

早稲田大学同窓市長会で多くの先輩、後輩の市長さんとお付き合いをいただいています。つい先日、田中龍夫埼玉県入間市長さんとお会いする機会がありました。彼とは大学時代のまったくの同

級生。狭山茶が名産とのこと、香り豊かな緑の文化都市・入間市の御発展を願っております。また、本市と姉妹都市の菅家一郎福島県前会津若松市長(現衆議院議員)さんとは長いお付き合いをいただいております。大河ドラマ「八重の桜」でにぎわう会津若松市の御繁栄を御期待申し上げます。入間市や会津を訪ねられた観光客の皆さま方には、むつ市「斗南藩」へも訪れていただき、「むつ市のうまいは日本一!」を堪能していただければと思っています。



私の商売繁盛の原点「いらっしやい、いらっしやい」でお客さまの呼び込み

「やからのおまじゆ」

「おじいちゃん」で目線(目尻)が変わる。今の楽しみはスカイプ(Skype)、ニューヨーク在住と千葉在住の孫たちとのコミュニケーションツールです。昨年、渡米した4歳の孫娘とスカイプで会うことが楽しみです。一方、孫息子は1歳半ですが、これもスカイプがやすらぎのひとつをつくってくれています。周知から、市長の弱点は孫との定説が伝わっているようです。「ニューヨークへ行きたいかーっ!!」「知力、体力、時の運」+「お金」を駆使しても孫に会いに行きたいのですが、なかなか夢が叶いません。スカ



「千円札が空中浮遊?」マジックを特訓中の筆者

イプのある時代に生まれてきて良かった。また、公務で福祉施設などを訪問した際、マジックを披露して喜んでもらうことも私にとっての楽しいひとときであります。出張等の時間の合間やインターネットを利用してマジックのネタを購入しています。人々に感動を与え、気持ちの前向きにさせてあげたいとの思いで、血のにじむような努力を重ねています。血のにじむような努力、タイミングと度胸が、選挙とは違い、タイミングと度胸がまだまだかなあ。自身の指先のリハビリには、結構役立つています。もちろん、スカイプで孫たちにも披露しています。「おじいちゃん」スゴイ!」が技量を磨く励みとなっています。

「こつこつと努力」 「学習塾30年 日々は決戦」

大学卒業後、ふるさとに戻り学習塾を30年続けました。多くの教え子が全国にいます。「先生」と今でも呼んでくれていますし、市職員の中にも教え子がおり「先生」と呼ばれることもあります。この体験が「先生は経験と教師用テキストがあるから理解ができるが、生徒の目線ではよくわからないことが多い」だから「市民への説明はわかりやすく、寄り添っ

て」と行政運営の基本を作り上げました。窓口専門員、そして今年度から始めた窓口アシスタント。日々の行政活動の中で、窓口や案内業務において市民の評価をいただくことが一番嬉しい。子どもたちへの物理的目線、市民への精神的目線などをこれからは市政発展への強力なエンジンにして行きたいと思っています。市民協働・参画のむつ市を作り上げて行くためにも。

「こつこつと努力」して「市民目線」で行政運営をすれば「顧客満足度」が高まることを強く持つに至りました。現在もこの気持ちで「おでかけ市長室」「出前講座」などで積極的に現場や市民各界各層へお出かけをしています。中・高校生を対象にした「青春編」や青年会議所等を対象にした「各種団体編」なども行っています。ブログ、フェイスブックは全く私的な感想を綴っていて、四季折々に思うことや撮影した画像を取り入れており、ブログ歴は約10年になります。小さな日記を綴り、これからもこつこつと。今後の行政活動では、スマホを使った新しいシステムを構築したいと思っています。

「むつ市のうまいは日本一!」

本州最北端・下北半島の中核都市むつ市は、海の幸や山の幸、野の幸に恵まれ